

商 千葉商科大学同窓会

千葉商科大学同窓会ニューズレターは同窓会情報誌「きずな」のダイジェスト版であります。「きずな」本誌は年会費納入者に年3回、お届けし、大学の最新情報、同窓会の活動状況を皆様にお伝えしております。母校愛が蘇ってまいります。

お申込み・問い合わせは、同窓会事務局およびWebサイトにて承っております。

☆ご意見、ご要望を

お聞かせください☆

[TEL&FAX]

047-371-2665

[E-mail]

salon@all-cuc.org

同窓会ニューズレターや「きずな」の紹介記事、イベント、連絡事項は同窓会Webサイトに掲載されています。

[同窓会 Web サイト]

<http://www.all-cuc.org/>

[Facebook ページ]

ID : cuc.kizuna

[発行者]

千葉商科大学同窓会

広報・IT委員会

〒272-8512

千葉県市川市国府台 1-3-1



母校に誇りを



同窓会会長
勝田 啓示

5月1日、新元号「令和」になり、新しい時代の到来で身も心も引き締まる思いである。出典は万葉集第5巻序文「初春の令月にして、気よく風和ぎ…」ということで清らかな気持ちになり気分一新、勇気が湧いてくるようである。過日、海外研修を終えた女子学生が同窓会事務局を訪れ英語で挨拶をされ同窓会も英会話ができないと学生に置いて行かれるのではと危機感を覚えた。

大学の教育方針である経営者や専門家として高い倫理観を持って活動する人材の育成が新しい時代と共に着実に浸透していることを感ずる。

同窓会は令和2年11月に創立50周年を迎える。昭和、平成から学び得たことを新しい時代にどう生かすか記念事業実行委員会を設立し企画立案中である。同窓会自体の基盤強化を図り創立100周年に向けてスタートした大学と互いに連携を深め新しい時代にマッチした同窓会50周年を共に祝い喜び合いたいものである。

同窓会事業計画の主な推進状況

- | | |
|------|---|
| 重点目標 | ○維持会費納入促進 「1・1作戦」の徹底
(1人一名を紹介する) |
| 推進事項 | ○第50期予算編成
○創立50年特別準備委員会設置(企画立案中)
○会則、選挙管理規程見直し特別委員会設置
(見直し案常任理事会にて検討中)
○九州地区、関西地区支部設立・同期会設立フォロー
○交流会の実施(憲政記念館見学) |

同窓会創立50周年 (2020年(令和2年)11月)

【ホームカミングデー】

令和元年11月3日(日)・4日(月・祝)

<第50期定期総会>

令和元年11月4日(月・祝)

- 定期総会 (7号館地下1階 702教室)
- 懇親会 (本館7階 大会議室)

<ホームカミングデーイベント>

- 懐かしき思い出工房 (1号館1階中央・学生ラウンジ／両日開催)
- 写真部OB・OG会による写真展(1号館1階1102教室予定／両日開催)

【参考】千葉商科大学瑞穂祭 日程：令和元年11月3日(日)・4日(月・祝)

同窓会本部からの報告

◇同窓会情報

1. 「同窓会専用ロゴデザイン募集」

同窓会創立 50 周年を迎えるにあたり同窓会独自の後世に残るロゴデザインを募集します。詳細（募集要項）は「第 50 期定期総会案内」に同封しているチラシおよび同窓会 Web サイトでご確認ください。多数のご応募お待ちしております。

2. 「卒業祝賀会開催」…大学・同窓会共催

平成 31 年 3 月 21 日、学位記授与式の後、大学・同窓会共催で 1 号館にて卒業祝賀会を開催、新卒業生の門出を祝い同窓会の良さを説き共に活動することを勧め、同窓会参加を呼びかけた。

3. 「きずな裏表紙の広告掲載のお願い」

「きずな」の裏表紙に卒業生の企業広告を募集しております。詳細は広報・IT委員会まで。

◇大学情報

1. 新理事長に内田茂男氏

原田嘉中理事長の退任に伴い、令和元年 6 月、前常務理事で名誉教授の内田茂男氏が新理事長に就任した。

2. 信頼される大学を目指し「SDGs」（国連が定めた持続可能な 17 の開発目標）の推進

○自然エネルギー 100%達成（平成 31 年 3 月 5 日東京新聞 1 面トップ記事として紹介される）

○CUC100 ワインプロジェクトによるブドウ栽培

3. 全国大学対抗簿記大会団体戦史上初 8 連覇！

◇維持会費納入のお願い

同窓会は「1・1 作戦」（表面参照）を展開し基盤強化のため維持会費の納入促進を図っております。ご協力賜りますようお願い申し上げます。（「きずな」本誌年 3 回送付）
(同窓会正副会長・財政委員会)

◇編集後記

本誌は「きずな」のダイジェスト版であります。きずな本誌には事業計画・決算報告・同窓会の活動状況・大学情報・保護者会情報等すべて網羅されております。是非ご覧いただきたく存じます。「きずな 31 号」は 10 月下旬発刊予定です。ご期待ください。ホームカミングデー、第 50 期定期総会の参加をお待ちしております。
(広報・IT委員会)

第 50 期事業計画に係わる基本方針

自 令和元年 10 月 1 日 至 令和 2 年 9 月 30 日

同窓会創立 50 周年 (令和 2 年 11 月)

I 基本目標

基盤強化

1 維持会費納入促進

「1・1 作戦」の実施 - 継続

2 本部・支部の連携

3 大学・保護者会との連携強化

現役学生の接点作り

II 事業計画

活力ある同窓会活動の推進

1 本部定期総会の開催

懐かしき思い出工房等の実施

卒業祝賀会・交流会、趣味の会等の実施

2 創立 50 周年記念事業実施案の策定

3 会則および選挙管理規程見直し案の策定

4 支部、同期会、その他瑞穂会設立の推進

5 無駄の排除

第 49 期収支計算見込

第 49 期 収支計算書

(決算見込書)

自 平成 30 年 10 月 1 日 至 令和元年 9 月 30 日

(単位：千円)

正会員収入	50
学生会員収入	15,750
華甲会費収入	100
維持会費収入	3,860
総会費収入	643
寄付金収入	70
受取利息収入	563
基金取崩し収入	5,000
前年度繰越金	14,041
収入の部合計	40,077
定期総会等会議費	677
人件費	1,754
印刷費	2,328
通信費	5,570
消耗品費	37
賃借料	93
旅費交通費	2,125
振興助成費	1,915
支部長会助成費	200
団体活動助成費	560
事務電算委託費	401
学生援助費	2,100
学生会員記念品費	105
雑費	617
新会員歓迎費	500
同窓会基金へ繰入	2,000
備品購入費	62
母校 90 周年募金	5,000
50 周年等積立金	3,500
預り金	606
次年度繰越金	9,927
支出の部合計	40,077